

## 立教学院 2020 年度決算について (説明資料)

立教学院は、2021年5月21日の理事会において2020年度決算が承認されたことを受け、ホームページにおいて各種決算資料を公表しました。  
財務部では、これらの決算資料の概要を説明し、本学院の財政状況を分かりやすく示すことを目的として本資料を作成しました。  
決算資料と併せてご覧いただくことで、より多くの方々に本学院の財政状況をご理解いただきたいと考えています。

決算資料公表 URL <https://www.rikkyogakuin.jp/disclosure/reports/>

\*各計算書および図において、単位未満を端数処理しているため、合計等に差異が生じている場合があります。

立教学院財務部

# 1 事業活動収支計算書

事業活動収支計算書とは、「教育活動収支」「教育活動外収支」「特別収支」の3つの事業活動に分けて、当該会計年度の事業活動収入および事業活動支出の内容を明らかにするとともに、収支の均衡状態を示すものです。

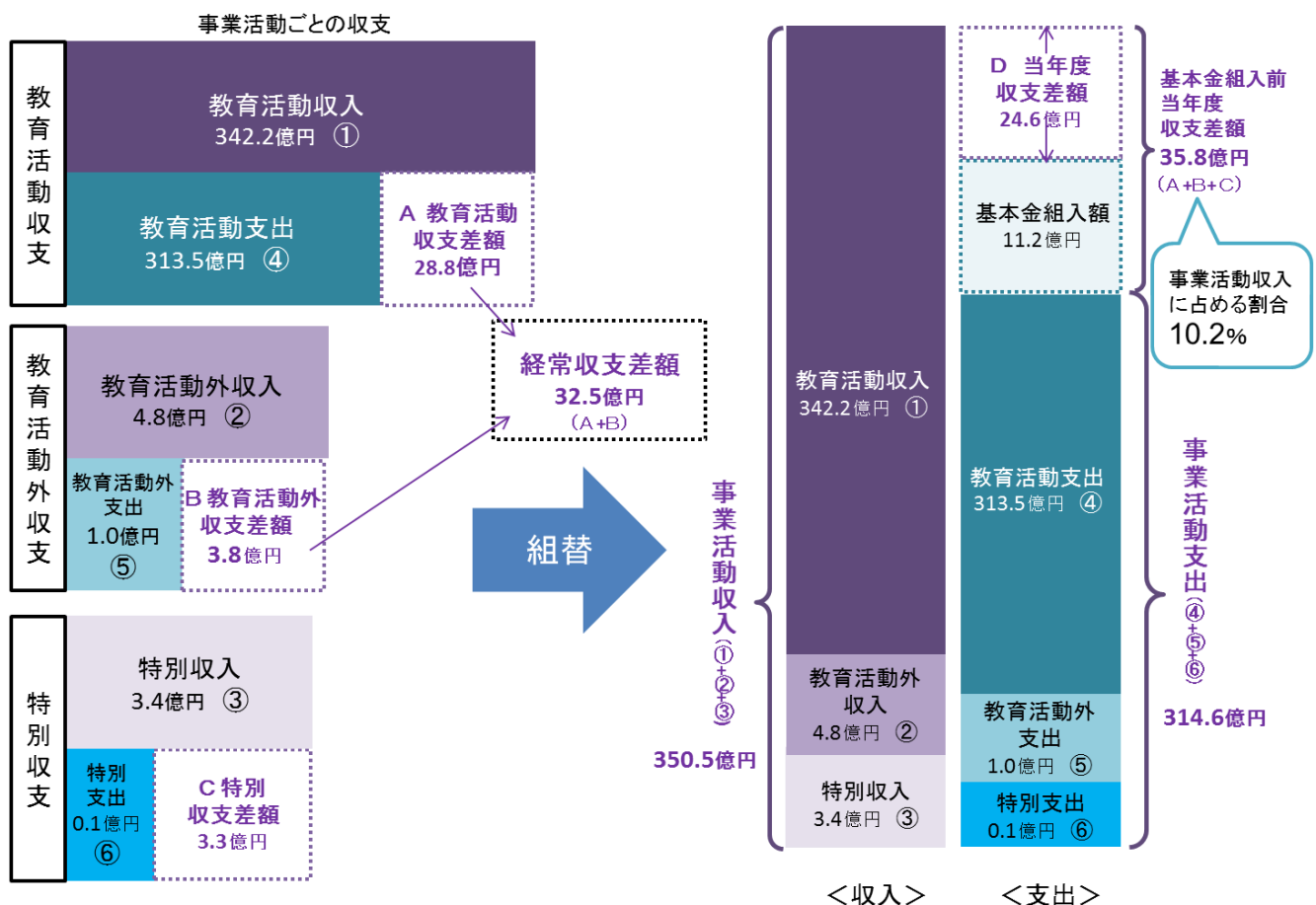
「教育活動収支」と「教育活動外収支」では経常的な活動による収支状況を表し、臨時的な収支については「特別収支」で表します。

新型コロナウイルス感染症拡大により教育活動支出が予算比では減少しましたが、学修環境整備奨学金支給、オンライン授業環境・通信環境整備、検問・検温実施等、新型コロナウイルス感染症対策に必要な対応を迅速に行った結果、昨年度決算比では1.5億円増加しました。海外プログラムの中止等により学生生徒等納付金が予算比で減少した一方で、大学の一般入試の志願者数が増加したこと、「緊急奨学支援」に多くのご支援をいただいたこと等により、教育活動収入は予算比で増加しました。その結果、教育活動収支差額は28.8億円のプラスとなりました。

また、受取利息・配当金が増加し、教育活動外収支差額は3.8億円のプラスとなり、これら二つの収支差額を合計した経常収支差額は32.5億円のプラスとなりました。

さらに、特別収支差額は3.3億円のプラスとなり、以上の結果、基本金組入前当年度収支差額はプラス35.8億円、事業活動収支差額比率は10.2%となりました。

図1 事業活動収支計算書の構成 概要



# 事業活動収支計算書

## ■教育活動収支

(単位：千円)

経常的な収支のうち、本業である教育研究活動に関する区分です。

施設・設備のための寄付金、現物寄付以外の寄付金収入です。

施設・設備のための補助金以外の補助金収入です。

減価償却額等を含む教育研究に係る経費の合計です。

減価償却額等を含む法人業務や学生募集に係る経費の合計です。

科目	予算	決算	差異 (△印超過)
学生生徒等納付金	27,342,860	26,684,900	657,960
手数料	2,027,265	2,262,185	△ 234,920
寄付金	659,925	950,340	△ 290,415
経常費等補助金	2,495,940	3,257,622	△ 761,682
付随事業収入	197,594	226,537	△ 28,943
雑収入	728,049	842,477	△ 114,428
教育活動収入計	33,451,633	34,224,062	△ 772,429
人件費	17,953,963	17,652,117	301,846
教育研究経費	12,555,451	12,098,305	457,146
管理経費	1,862,849	1,597,959	264,890
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	32,372,263	31,348,381	1,023,882
教育活動収支差額	1,079,370	2,875,681	△ 1,796,311

## ■教育活動外収支

経常的な収支のうち、財務活動に関する区分です。

収益事業収入等、学校法人の教育研究活動以外の活動による収入です。

経常的な事業活動による収支差額です。  
(教育活動収支差額 + 教育活動外収支差額)

科目	予算	決算	差異 (△印超過)
受取利息・配当金	344,284	407,994	△ 63,710
その他の教育活動外収入	170,000	70,000	100,000
教育活動外収入計	514,284	477,994	36,290
借入金等利息	102,834	102,832	2
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	102,834	102,832	2
教育活動外収支差額	411,450	375,162	36,288
経常収支差額	1,490,820	3,250,843	△ 1,760,023

## ■特別収支

一時的に発生した臨時的な収支に関する区分です。

施設・設備のための寄付金、現物寄付、補助金等です。

固定資産の除却や有価証券の売却損等、資産の処分に伴う費用です。

経常収支差額と特別収支差額の合計で、当該年度全体の収支差額です。

当該年度の支出額のうち、学校法人を維持するために必要な資産を継続的に保持するための組入れ額です。

科目	予算	決算	差異 (△印超過)
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	251,005	344,178	△ 93,173
特別収入計	251,005	344,178	△ 93,173
資産処分差額	13,230	12,575	655
その他の特別支出	0	375	△ 375
特別支出計	13,230	12,950	280
特別収支差額	237,775	331,228	△ 93,453

[予備費]	(176,161)		
	138,839		138,839
基本金組入前当年度収支差額	1,589,756	3,582,071	△ 1,992,315
基本金組入額合計	△ 1,625,988	△ 1,124,010	△ 501,978
当年度収支差額	△ 36,232	2,458,061	△ 2,494,293
前年度繰越収支差額	△ 16,971,422	△ 16,971,422	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 17,007,654	△ 14,513,362	△ 2,494,293
(参考)			
事業活動収入計	34,216,922	35,046,234	△ 829,312
事業活動支出計	32,627,166	31,464,163	1,163,003

※千円未満四捨五入

## 2 資金収支計算書

資金収支計算書とは、当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の収入および支出の内容と、支払資金の収入および支出についてその顛末を明らかにするものです。

新型コロナウイルス感染症拡大により人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出、設備関係支出は予算比で減少しましたが、学修環境整備奨学金支給、換気設備工事、オンライン授業環境・通信環境整備、検問・検温実施等、新型コロナウイルス感染症対策に必要な対応を迅速に行いました。その結果、教育研究経費支出は前年度決算比で増加しました。

また、海外プログラムの中止等により学生生徒等納付金収入が予算比で減少した一方で、大学の一般入試志願者数の増加、「緊急奨学支援」に多くのご支援をいただいたこと、改革総合支援事業や新型コロナウイルス感染症対策補助金に採択されたこと等により、予算比で手数料収入が2.3億円、寄付金収入が2.3億円、補助金収入が7.8億円増となりました。なお、資産運用支出（各種特定資産の積み増し）は増加しました。

その結果、翌年度繰越支払資金は42.0億円（前年度比0.7億円増）となりました。

資金収支計算書		■収入の部			
		(単位：千円)			
		科目	予算	決算	差異 (△印超過)
大学・高等学校・中学校・小学校において納入された学費です。	●学生生徒等納付金収入		27,342,860	26,684,900	657,960
主に入学試験の検定料や証明書の発行手数料です。	●手数料収入		2,027,265	2,262,185	△ 234,920
私立大学等経常費補助金を始めとする国・地方公共団体からの補助金です。	●寄付金収入		667,925	901,190	△ 233,265
	●補助金収入		2,538,949	3,320,723	△ 781,774
	●資産売却収入		0	0	0
受託研究や収益事業等による収入です。	●付随事業・収益事業収入		367,594	296,537	71,057
	●受取利息・配当金収入		344,284	407,994	△ 63,710
主に私立大学退職金財団からの交付金や、学校法人の施設貸し出しによる施設設備利用料収入です。	●雑収入		728,049	838,083	△ 110,034
	●借入金等収入		0	0	0
入学手続きをした翌年度の新入生から受け入れた授業料や入学金です。	●前受金収入		4,742,676	4,753,149	△ 10,473
主に特定資産の取り崩し収入や前年度末に未収入金となった補助金等の入金額です。	●その他の収入		1,058,957	2,364,816	△ 1,305,859
	●資金収入調整勘定		△ 5,213,560	△ 5,361,672	148,112
当該年度に受け入れることができなかった収入（期末未収入金）と、前年度にあらかじめ受け入れていた当該年度の活動に関する収入（前期末前受金）です。	●前年度繰越支払資金		4,128,441	4,128,441	—
	収入の部合計		38,733,440	40,596,346	△ 1,862,906
	■支出の部				
		科目	予算	決算	差異 (△印超過)
教職員の人件費に係る支出です。	●人件費支出		17,855,502	17,697,634	157,868
教育研究に係る支出です。	●教育研究経費支出		10,125,531	9,607,528	518,003
法人業務や学生募集等に係る支出です。	●管理経費支出		1,738,563	1,474,245	264,318
	●借入金等利息支出		102,834	102,832	2
土地、建物等に係る支出です。	●借入金等返済支出		706,551	706,551	0
機器備品、図書等に係る支出です。	●施設関係支出		828,625	702,362	126,263
将来の支出に備えるための各特定資産への積み増しです。	●設備関係支出		364,959	352,048	12,911
	●資産運用支出		3,725,282	5,874,171	△ 2,148,889
前年度末に未払いとなっていた経費を支払ったこと等による支出です。	●その他の支出		311,127	418,561	△ 107,434
	[予備費]		(237,640)		
			77,360		77,360
当該年度に支払うことができなかった支出（期末未払金）と、前年度にあらかじめ支払っていた当該年度の活動に関する支出（前期末前払金）です。	●資金支出調整勘定		△ 305,206	△ 542,182	236,976
	●翌年度繰越支払資金		3,202,312	4,202,596	△ 1,000,283
	支出の部合計		38,733,440	40,596,346	△ 1,862,906

※千円未満四捨五入

### 3 活動区分資金収支計算書

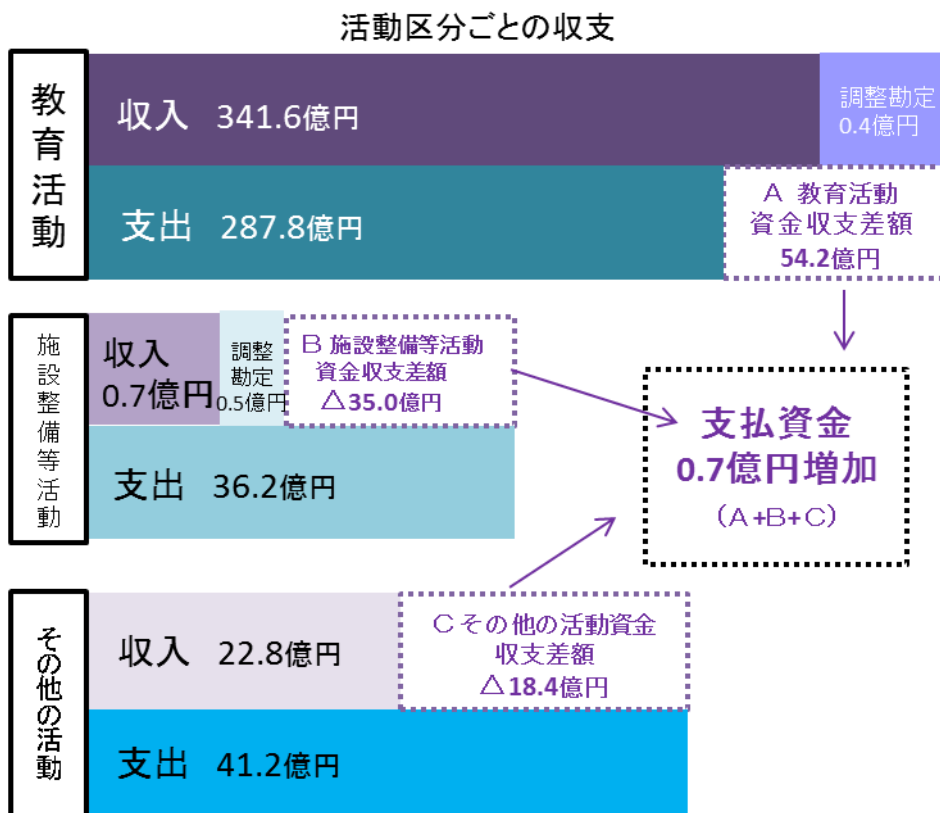
活動区分資金収支計算書とは、資金収支計算書を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分に分けて、活動区分ごとの資金の流れを把握するものです。

教育活動による資金収支は54.2億円のプラスとなりました。コロナ禍においても、質の高い教育研究活動を継続して発展させていく必要があるため、今後の新たな教学展開や、それを支える施設整備に必要な投資財源の確保に向けて、各種特定資産への積み増しを行いました。

施設整備等活動による資金収支は特定資産の積み増しを行ったため35.0億円のマイナス、その他の活動による資金収支も財政基盤強化のために特定目的引当資産の積み増しを行ったため18.4億円のマイナスとなりました。

以上の結果、支払資金は前年度より0.7億円増加しました。

図2 活動区分資金収支計算書の構成 概要



# 活動区分資金収支計算書

いわゆる“学校法人の本業”で、キャッシュフローベースでの採算がどの程度確保できたかを明らかにする区分です。

## ■教育活動による資金収支

(単位：千円)

科目	金額
学生生徒等納付金収入	26,684,900
手数料収入	2,262,185
特別寄付金収入	640,450
一般寄付金収入	252,201
経常費等補助金収入	3,257,622
付随事業収入	226,537
雑収入	836,321
教育活動資金収入計	34,160,216
人件費支出	17,697,634
教育研究経費支出	9,607,528
管理経費支出	1,473,870
教育活動資金支出計	28,779,032
差引	5,381,184
調整勘定等	36,960
教育活動資金収支差額	5,418,145

土地や建物の購入・建設のための施設関係支出や、備品等を購入するための設備関係支出、それらの財源になる寄付金、補助金、特定資産に関する区分です。

## ■施設整備等活動による資金収支

科目	金額
施設設備寄付金収入	8,539
施設設備補助金収入	63,101
施設設備売却収入	0
建設資金引当特定資産取崩収入	974
施設整備等活動資金収入計	72,613
施設関係支出	702,362
設備関係支出	352,048
減価償却引当特定資産繰入支出	329,238
建設資金引当特定資産繰入支出	2,238,707
施設整備等活動資金支出計	3,622,355
差引	△ 3,549,742
調整勘定等	45,088
施設整備等活動資金収支差額	△ 3,504,654

経常的な活動による資金収支差額です。

小計 (教育活動資金収支差額 + 施設整備等活動資金収支差額) 1,913,490

借入金、貸付金、資産運用等の主に財務活動に関する区分です。

## ■その他の活動による資金収支

科目	金額
退職給与引当特定資産取崩収入	13,039
特定目的引当特定資産取崩収入	1,639,654
貸付金回収収入	33,744
その他	115,252
小計	1,801,689
受取利息・配当金収入	407,994
収益事業収入	70,000
過年度修正収入	1,762
その他の活動資金収入計	2,281,446
借入金等返済支出	706,551
第3号基本金引当特定資産繰入支出	70,000
退職給与引当特定資産繰入支出	240,337
特定目的引当資産繰入支出	2,995,889
貸付金支払支出	9
特許権支出	241
その他	2,339
小計	4,015,366
借入金等利息支出	102,832
過年度修正支出	375
その他の活動資金支出計	4,118,573
差引	△ 1,837,128
調整勘定等	△ 2,208
その他の活動資金収支差額	△ 1,839,336

支払資金の増減額 (小計 + その他の活動資金収支差額) 74,154  
 前年度繰越支払資金 4,128,441  
 翌年度繰越支払資金 4,202,596

※千円未満四捨五入

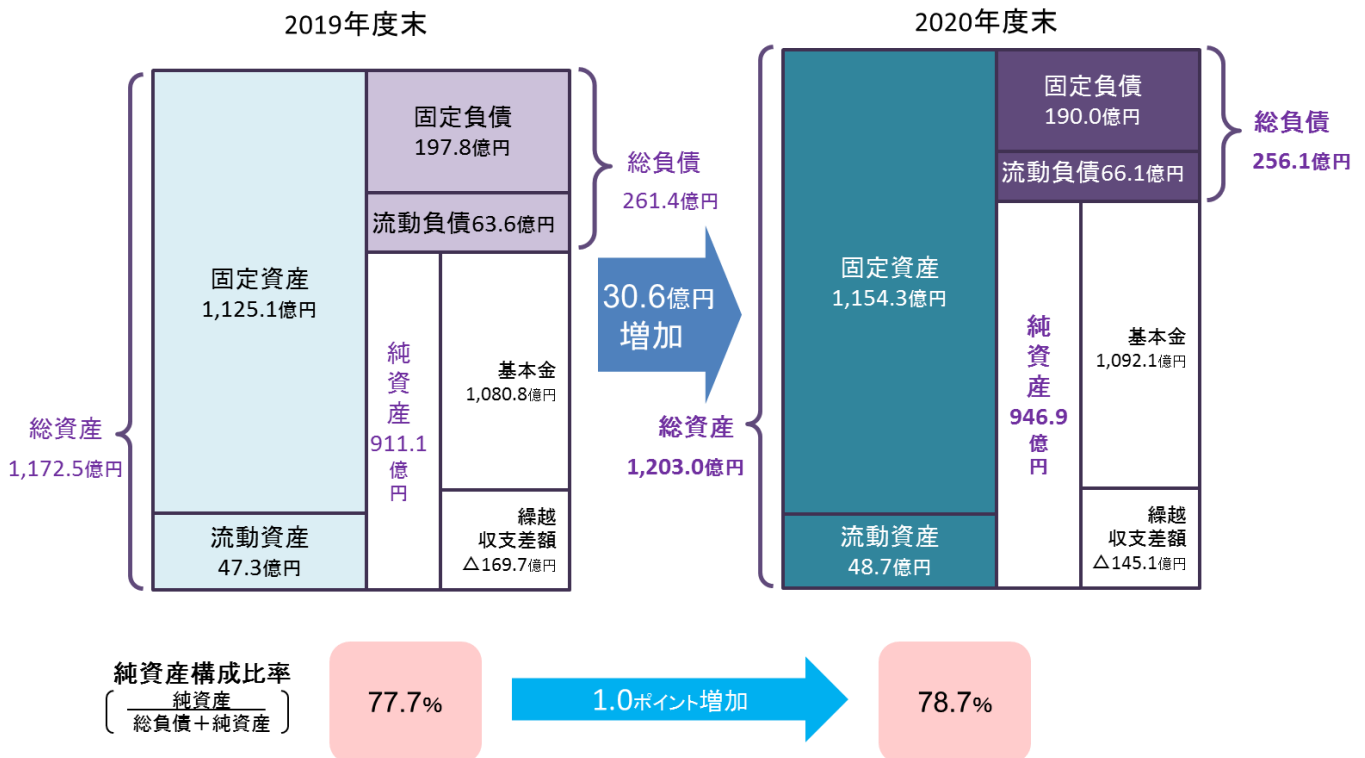
## 4 貸借対照表

貸借対照表とは、一定時点（3月末現在）における財産の状況を明らかにするものです。

有形固定資産のうち、建物は減価償却の進行等により減少しています。特定資産は、積極的な積み増しを行ったことにより43.9億円増加し、流動資産も現金預金と未収入金の増加により1.4億円増加しました。固定負債は借入金の返済により減少していますが、未払金、前受金の増加により流動負債は増加しています。

また、長期的に財政状態が安定しているかを測る指標に「純資産構成比率」があり、数値が高いほど、必要な資産を自力で調達していることを表し、財政的に安定していることを示します。本学院の同比率は78.7%と増加傾向にあり、健全性が高まっているといえます。（財政比率については「立教学院決算経年推移資料（2016年度～2020年度）」もご参照ください。）

図3 貸借対照表の構成 概要



## 貸借対照表

### ■資産の部

(単位：千円)

科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
固定資産	115,433,932	112,513,027	2,920,905
有形固定資産	58,362,724	59,794,249	△ 1,431,525
土地	6,971,825	6,649,957	321,869
建物	37,399,845	38,993,112	△ 1,593,267
その他	13,991,054	14,151,181	△ 160,128
● 特定資産	54,681,230	50,290,189	4,391,041
第3号基本金引当特定資産	3,038,526	2,968,526	70,000
減価償却引当特定資産	5,915,891	5,583,207	332,685
建設資金引当特定資産	11,993,242	9,754,993	2,238,249
その他	33,733,571	31,983,464	1,750,107
● その他の固定資産	2,389,977	2,428,589	△ 38,612
有価証券	15,000	15,000	0
長期貸付金	2,298,780	2,331,002	△ 32,222
その他	76,197	82,587	△ 6,390
流動資産	4,869,532	4,732,578	136,954
現金預金	4,202,596	4,128,441	74,154
その他	666,936	604,137	62,799
資産の部合計	120,303,464	117,245,605	3,057,859

用途が特定された預金等の額です。

特定資産に該当しない無形固定資産等(有価証券、奨学貸付金等)の額です。

### ■負債の部

科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
固定負債	19,001,476	19,777,458	△ 775,982
長期借入金	5,428,789	6,129,795	△ 701,006
退職給与引当金	7,164,611	7,410,124	△ 245,513
その他	6,408,076	6,237,539	170,537
流動負債	6,610,211	6,358,442	251,770
短期借入金	701,006	706,551	△ 5,545
未払金	533,372	401,876	131,495
前受金	4,753,149	4,741,800	11,349
その他	622,685	508,215	114,469
負債の部合計	25,611,687	26,135,899	△ 524,212

基本金とは、学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、その事業活動収入のうちから組み入れられた金額です。

### ■純資産の部

科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
● 基本金	109,205,138	108,081,128	1,124,010
● 第1号基本金	103,848,571	102,794,561	1,054,010
● 第3号基本金	3,038,526	2,968,526	70,000
● 第4号基本金	2,318,041	2,318,041	0
繰越収支差額	△ 14,513,362	△ 16,971,422	2,458,061
翌年度繰越収支差額	△ 14,513,362	△ 16,971,422	2,458,061
純資産の部合計	94,691,776	91,109,706	3,582,071

自己資金で取得した、教育研究に必要な固定資産(土地、建物、備品、図書等)の額です。

奨学基金等、基金として継続的に保持し、運用する資産の額です。

最低限保持すべき約1カ月の運転資金に相当する額です。

科 目	2020年度末	2019年度末	増 減
負債及び純資産の部合計	120,303,464	117,245,605	3,057,859

※千円未満四捨五入

## おわりに

以上のとおり、2020年度は、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行する中でも“学びを止めない”ために、多くのご支援をいただきながら寄付金を原資とした奨学金を支給し、オンライン授業環境を整え、感染症の拡大防止に努めつつ教育機会の確保に尽力してまいりました。

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中では、教育研究活動を始め、様々な活動の推進には今後も十分な配慮と対策が必要となりますが、そのような状況下でも質の高い教育研究活動を維持し、発展させていくため、引き続き適切な財政運営に努めていきたいと考えています。

以上